

みずらみずらみずらの散歩道

おすすめの3コース

晴れた日の青空のもと、所沢の散歩道をのんびりと歩いてみませんか。
そこには、みどりの森、光る水辺、高い空、鳥もさえずり花も咲いています。にぎわう街から横道へ入ると歴史の重みを感じる神社や寺があらわれます。季節ごとの多彩な風景が皆さんを待っています。今回は、所沢を代表する身近な3つのスポットを紹介いたします。

※問い合わせ 商工労政課 (☎998-19155)

コース I

小手指ヶ原古戦場と狭山湖コース

小手指駅の南口から線路沿いに狭山ヶ丘方面へ進み、砂川堀の調整池を左へ曲がります。ここでも来ただけで、春にはひばりの声も聞くことのできる畑が広がります。警備員の信号を左に曲がると左手に埋蔵文化財調査センターが見えます。
この建物の南側には白旗塚と小手指ヶ原古戦場の碑があります。そのまま南へ茶畑等の間を通り指導標に従い200mほど行くと丁字路にあたります。ここで寄り道をして北野天神へ行きましょう。

杉やもみの木が常緑樹の森をつくっています。

先ほどの丁字路まで戻り、1月にはロウバイが咲く金徳寺を経て市保存樹木のふじ等の木がある藤森稲荷へ向かいます。ゆるやかな上り道を行けば狭山丘陵のほすれに出ます。茶畑から見下ろす景色は、ほっと一息したくなる眺めです。あとわずかで狭山湖です。ここはなんと冬でも桜の季節が1番です。そして秋から冬にかけては紅葉を楽しみ、渡ってきたカモやカイツブリが湖面にゆれ、水鳥の観察に、最も適しています。柳瀬川の源流はこの堤防の南の下にあります。堤防を渡り、狭山湖周遊道路を左に折れると山口観音からユネスコ村、西武ドームへと続きます。

9 狭山湖 (山口貯水池)

狭山湖は、東京都の水がめとして昭和9年に完成した人造湖です。周辺は県立狭山自然公園となっています。平成10年から耐震対策のため堤防の改修工事が施され、昨年11月に完成し、新たな狭山湖の魅力となっています。

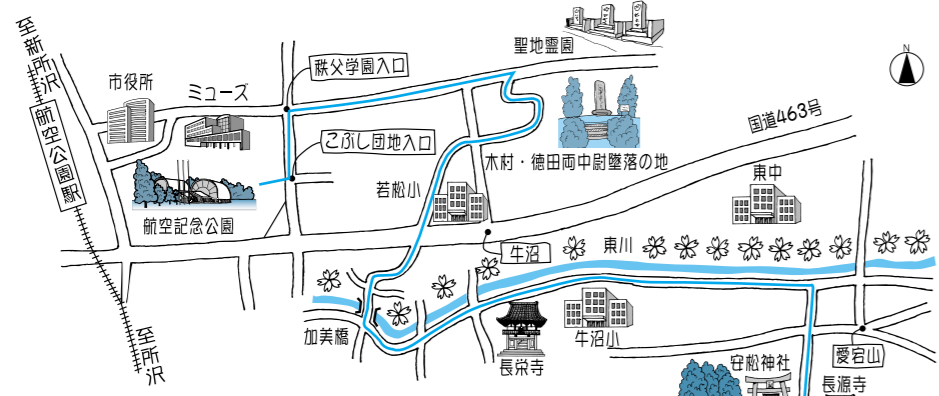


狭山湖の風景

コース II

荒幡富士市民の森と史跡散策コース

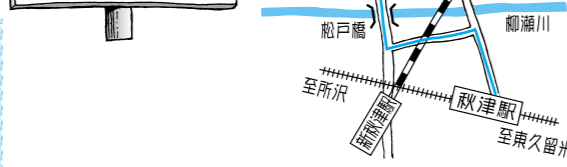
西所沢駅から線路沿いに所沢方面へ進み、南陵中学校の先まで行き、指導標に沿って長久寺横を通り勢揃橋へ向かいます。柳瀬川を渡り、松が丘の住宅地の東から八国山の尾根へ登って行くトクヌギ、コナラ等の雑木林が広がっています。同住宅地の中央を通り抜けて久米水天宮、鳩峰八幡神社のある丘へ登って行きます。荒幡小学校の下に見て再び雑木林に入っていくこのコースのハイライト「荒幡富士」があらわれます。ここからの眺めはすばらしいものがあります。



ウォーキングマップを 収集のお供に

市では、市民の皆さんに街を知り、暮らしを楽しんでいただくために、ウォーキングマップを作成しています。このマップは散歩道を歴史や文化、季節の花便り等の5つのストーリーで演出し、イベント情報やレジャースポット、観光農園等を紹介しています。
配布場所 市役所2階・商工労政課、市内各出張所

III 航空発祥の歴史と船井の寺社を訪ねるコース 9.8km



コース III

航空発祥の歴史と松井の寺社を訪ねるコース

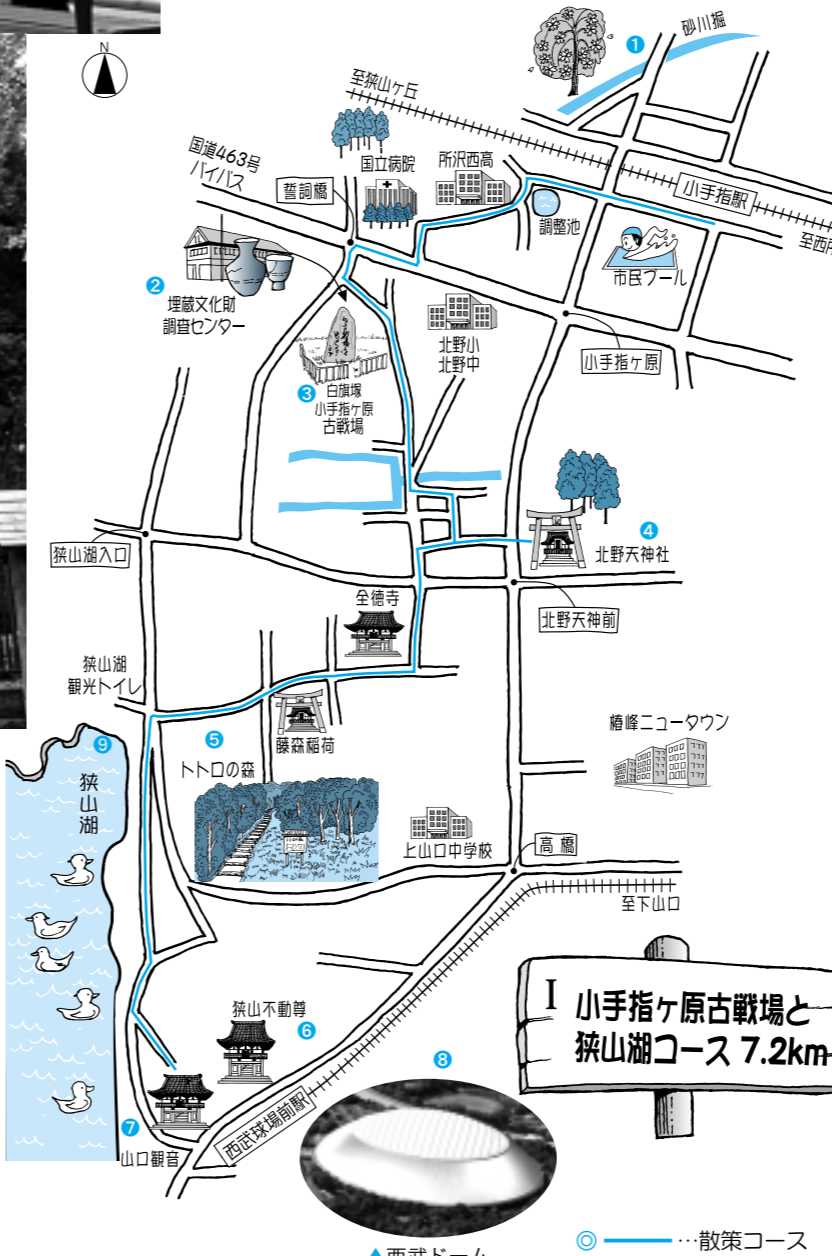
秋津駅北口を正面に進み、松戸橋方面に向かいます。安松神社の階段をのぼり、住宅地を進むと東川にです。両岸には800本を超える桜が植えられ、花見の時期は見事な花を咲かせます。川沿いに加美橋まで行くこと、水辺にはゴイサギ等の野鳥を見ることが出来ます。国道を渡り、霊園の駐車場を出て緑豊かな「航空記念公園」に向かいます。ここは日本初の飛行場跡地です。園内にある航空機や航空の歴史と科学をわかりやすく展示・解説している「所沢航空発祥記念館」に立ち寄りてみてください。平成11年にできた茶室「彩翔亭」では気軽に茶の心に触れることができます。



狭山不動尊



トトロの森



砂川堀のしだれ桜



山口観音の五重塔

主な 見どころ 小手指ヶ原古戦場と 狭山湖コース

- 1 砂川堀両岸のしだれ桜
西武鉄道小手指車両基地から小手指公園までの砂川堀両岸約500mの間に、あわせて119本のしだれ桜があります。このしだれ桜が一斉に薄紅色の花を咲かせるさまは、見ごたえがあります。
- 2 埋蔵文化財調査センター
センターでは、発掘された石器土器等の調査研究、復元物の一般公開等を行っています。また、国の天然記念物に指定されている「ミヤコタナゴ」の保護・増殖が行われ、ふ化直後の稚魚から成魚まで約3、400匹を飼育しています。
- 3 小手指ヶ原古戦場
元弘3年、新田義貞が郷里の上野国生品明神で挙兵し、当古戦場にて桜田貞国を大将とする鎌倉幕府軍と一戦を交えたことを鎌倉時代に、その後たたびこの地で合戦が繰り返されました。この地で合戦が繰り返された理由としては、昔この地が一面原野で、北は入曽(狭山市)から藤沢(入間市)あたりまで広がり、南側には狭山丘陵があり、戦場としての立地条件が整っていたことがあげられます。
- 4 北野天神社
北野天神社は、学問の神様・菅原道真公をまつり、学業成就に霊験があるといわれ、受験シーズンになると大勢の参拝者が訪れます。境内には前田利家が植えたといわれる「大納言梅」や徳川家康公が巡見の折に植えたといわれる名木「將軍桜」等が残っています。
- 5 森
狭山丘陵ナショナルトラスト「トトロのふるさと基金」は平成2年に発足しました。同団体が、平成3年に1、182・88㎡のコナラやクスギを中心とした雑木林を買取り、「トトロの森第1号地」が誕生しました。現在では、この「トトロの森」も4号地まで広がり、自然愛好家の皆さんの努力の成果があらわれています。
- 6 狭山不動尊
狭山不動尊は、昭和50年に開山した天台宗の新しいお寺です。境内には、徳川幕府2代将軍秀忠の合徳院霊廟の入口の門であった勅額門・丁字門・御成門があります。これらの門は、寛永9年3代将軍家光が建立したもので、国の重要文化財に指定されています。
- 7 山口観音
山口観音は、正式名称を、吾庵山金乗院といひ、弘法大師が開基したといわれています。市の有形文化財に指定されている裏観音(木造千手観音)が常時開帳され、ほかにも六歌仙図大絵馬、煙草屋図大絵馬、朝鮮式銅鐘等多くの文化財があります。昨年完成した立派な五重塔も新たなシンボルとなっています。
- 8 西武ドーム
ご存じ、西武ライオンズのホームグラウンドとして、昭和54年にオープンした日本で初めての掘り下げ式球場です。平成12年に屋根がけられ、ドーム球場としてリニューアルオープンしました。ライオンズが今シーズン4年ぶりにリーグ制覇を果たしました。今年も熱い戦いがこの球場で繰り広げられることでしょう。